

世界遺産富士山 登録10周年記念特別企画

富士山 芸術の源泉

【会場】

東京美術倶楽部 3階展示室
(東京都港区新橋6-19-15)

【日時】

2023年2月4日(土)・5日(日)
9時30分～17時

【入場料】

無料



富士三保清見寺園屏風



狩野董川中信筆 富士飛鶴園

【会場アクセス】

都営地下鉄三田線 御成門駅A4出口より徒歩2分

都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅A4出口より徒歩5分

JR新橋駅烏森口より徒歩10分

東京メトロ銀座線・都営地下鉄浅草線 新橋駅より徒歩10分

JR浜松町駅北口より徒歩10分

(会場に駐車場はありません。公共交通機関にてお越しください。)



【連絡先】

静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

電話0544-21-3776(休館日を除く 9:00～17:00)

公式ホームページ <https://mtfuji-whc.jp/>



静岡県富士山世界遺産センター

2013年6月、富士山はUNESCOの世界遺産リストに登録されました。

世界遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」のもつ顕著な普遍的価値をさらに検証かつ顕彰するため、静岡県では富士山世界遺産センターの整備を進め、2017年12月坂茂氏設計による建築とともに、富士山信仰の本拠浅間大社のある富士宮の地に開館いたしました。センターでは、「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」「深く究める」のコンセプトのもと、世界遺産富士山について啓発する常設展示スペースや高精細映像による4Kシアター、さらに研究員の調査研究成果を公開する企画展示室を設け、関係する美術・工芸作品や文芸資料、歴史・民俗資料などの収集にもつとめています。

今回の特別企画は、そうしたセンターの活動を東京や首都圏の皆さまに広く知っていただきたく、世界遺産富士山の「芸術の源泉」としての側面にクローズアップし、センター収集・寄託の江戸時代絵画を展覧するほか、美術史・文化史研究の泰斗である河野元昭氏と熊倉功夫氏、静岡県立美術館学芸員、そして美術史と国文学を各専門とする当センター研究員が講演を行います。

企画展では、当センター研究員の調査により、万延元年（1860）遣米使節がもたらした、徳川将軍から米国大統領への贈り物であることが明らかになった狩野董川中信筆「富士飛鶴図」、富士山図の定型的構図のなかに徳川家康の姿も描き込んだ江戸時代前期の「富士三保清見寺図屏風」のような新出作品とともに、11代将軍徳川家斉の上覧に供した谷文晁筆「富士山中真景全図」ほか、江戸時代の富士山絵画の優品を公開いたします。

主要出品作品

作者未詳 富士三保清見寺図屏風／狩野常信筆 近衛家熙賛 秋景富士三保清見寺図／
狩野伊川院栄信筆 富士三保松原図／狩野晴川院養信筆 富士山図(阿波蜂須賀家伝来)／
狩野董川中信筆 富士飛鶴図／土佐光孚筆 富士旭日図／谷文晁筆 富士山中真景全図／
谷文晁筆 松平定信・本居大平賛 富士山図／池田孤邨筆 富士三保松原図／
鈴木其一筆 富士越龍図

記念講演会

※各日先着150名・静岡県富士山世界遺産センターHPから要予約



2023年2月4日(土) 13時～16時

「江戸絵画で巡る静岡の絶景」(浦澤倫太郎・静岡県立美術館主任学芸員)
「万延元年(1860)の外交的贈答品—新発見、徳川将軍から米国大統領へ贈られた富士山図—」
(松島仁・静岡県富士山世界遺産センター教授／徳川記念財団特別研究員)
「江戸絵画史の富士山図 饒舌館長ベスト10」(河野元昭・静嘉堂文庫美術館館長)

2023年2月5日(日) 13時～16時

「古典詩歌が表現した富士山—絵画との協奏も視野に入れて—」
(田代一葉・静岡県富士山世界遺産センター准教授)
「ふじのくにと茶の湯」(熊倉功夫・ふじのくに茶の都ミュージアム館長)



谷文晁筆 富士山中真景全図



鈴木其一筆 富士越龍図